

平成 29 年度 第 5 回  
上越市地域公共交通活性化協議会  
次 第

日時 平成 29 年 12 月 21 日（木）午後 1 時 30 分から

会場 上越市役所 4 階 401 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議 事 項

議案第 1 号 地域公共交通確保改善事業費補助金に関する事業評価について

4 報 告 事 項

報告第 1 号 公共交通総合時刻表の作成について

報告第 2 号 台風 21 号による県道決壊に伴う路線バス「桑取線」代替運行等の対応について

報告第 3 号 平成 30 年度からの地域公共交通活性化協議会市民委員の募集について

報告第 4 号 中郷区乗合タクシーのダイヤ見直しに関する検討状況について

報告第 5 号 自家用有償旅客運送の軽微な事項の変更の届出について

5 そ の 他

6 閉 会

平成 29 年度 第 5 回  
上越市地域公共交通活性化協議会  
議 案 書

日 時	平成 29 年 12 月 21 日 (木) 午後 1 時 30 分から
会 場	上越市役所 4 階 401 会議室

地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る事業評価について

1 要旨

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条第5項及び実施要領に基づき当協議会が実施する地域公共交通確保維持事業、地域公共交通バリア解消促進等事業及び地域公共交通調査等事業について、効果的かつ効率的に事業を推進するため、補助金交付要綱の規定に基づき、実施状況の確認及び目標達成状況等の評価を行うもの。

2 補助金名称

地域公共交通確保維持改善事業費補助金

※参考：補助金交付要綱第1条

「この補助金は、生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域の特性・実情に最適な移動手段が提供され、また、バリアフリー化やより制約の少ないシステムの導入等移動に当たっての様々な障害の解消等がされるよう、地域公共交通の確保・維持・改善を支援することを目的とする。」

3 評価対象事業

- ・ 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（評価対象：H28.10～H29.9）
- ・ バリアフリー化設備等整備事業（評価対象：H28.4～H29.3）
- ・ 地域公共交通再編推進事業（再編計画推進事業）（評価対象：H29.4～H30.3）

4 事業評価（次頁）

5 参考資料

- ・ 地域内フィーダー系統路線図…………… 参考資料1 (P. 1)
- ・ 福祉タクシー導入車両…………… 参考資料2 (P. 13)
- ・ 平成29年度公共交通利用促進事業…………… 参考資料3 (P. 15)

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

**評価の基準(A、B、Cの3段階評価。基準は下記のとおり)**

- A: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施された(目標を達成した)  
 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(目標を達成できていない点があった)  
 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(目標を達成できなかった)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
頸北観光バス㈱	運行路線: 黒岩線(1) 柿崎バスターミナル～米山寺～黒岩 運行路線: 黒岩線(2) 柿崎バスターミナル～下灰庭・米山寺～黒岩	高齢者の沿線医療機関の利用が多いことから、通院の移動手段として維持・確保。ダイヤについては鉄道・幹線系統との接続に配慮し設定した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標: 運送収入前年比△13.5%以下に対して実績△5.9%(達成) 事業効果: 路線維持により、沿線の高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保(達成)	引き続き、鉄道や幹線系統への接続に配慮したダイヤを維持することで、高齢者を中心とした利用者の移動手段の維持確保に努める。また、お得な定期情報等を記載したチラシを配布し利用促進を図る。
東頸バス㈱	運行路線: 安塚線 うらがわら駅前～虫川大杉駅前～保健センター前	学生の通学利用が多いことから、移動手段として維持・確保。ダイヤについては、鉄道との接続に配慮し設定した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標: 運送収入前年比△5.0%以下に対して実績△4.8%(達成) 事業効果: 路線維持により、沿線の住民及び学生等の移動手段を確保(達成)	引き続き、鉄道への接続に配慮したダイヤを維持することで、学生を中心とした利用者の移動手段の維持確保に努める。また、新高校1年生に啓発資料を配布し利用促進を図る。
くびき野バス㈱	運行路線: 島田線 高田駅前～岡原～曾根田	沿線の住民及び学生等の通学・通勤の移動手段を維持・確保。高田駅との接続に配慮しダイヤを設定した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 目標: 運送収入前年比△7.3%以下に対して実績△11.6%(未達成) 事業効果: 路線維持により、沿線住民の通勤・通学、通院などの移動手段を確保(達成) 目標未達成の分析: 高齢者を中心とした定期的な利用者の自然減。(回数券・定期券収入230千円減少)	鉄道や幹線系統への接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。市内の高校に通う学生を中心に啓発資料を配布して利用促進を図る。
頸城自動車㈱	運行路線: 佐内・直江津循環線 直江津駅前～労災病院前～佐内入口	労災病院など沿線の医療機関に接続し、沿線住民はもとより沿線以外からの住民も直江津駅から接続できるようダイヤを設定した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標: 運送収入前年比0.4%以上にに対して実績10.4%(達成) 事業効果: 路線維持により、沿線の高齢者を中心とした通院及び買い物等の移動手段を確保(達成) 収益が大きく改善した要因: 高齢化による通院・買物需要が増え、回数券の利用が増加(2割程度)したと考えられる。	引き続き、鉄道や幹線系統への接続に配慮したダイヤを維持することで、高齢者を中心とした利用者の移動手段の維持確保に努める。
アイエムタクシー㈱	運行路線: 岡沢ルート 新井バスターミナル～中郷区総合事務所前～岡沢	①高齢者の利用実態を踏まえ、岡沢方面行きの日中便新設を検討。②学生の登下校時刻に合わせたダイヤの変更を検討。(①、②ともH29.12.1から実施)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標: 運送収入前年比△12.1%以下に対して実績△9.3%(達成) 事業効果: 路線維持により、沿線の中学生の通学や高齢者の通院等の日常生活に必要な移動手段を確保(達成)	日中の新設便の利用者を増やすため、沿線住民へ周知チラシを配布し、利用促進を図る。
東頸バス㈱	運行路線: 月影・下保倉・末広ルート(1) (2) うらがわら駅～浦川原区中心部～谷 運行路線: 上柿野ルート うらがわら駅～上柿野～うらがわら駅 運行路線: 小麦平ルート うらがわら駅～小麦平～うらがわら駅 運行路線: 東西ルート うらがわら駅～浦川原区・大島区～大島コミュニティプラザ前	浦川原区内の小学校統合に合わせ、予約方法や運行経路などを記載した周知チラシを沿線住民に配布し、利用促進に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標: 運送収入前年比△2.1%以下に対して実績56.5%(達成) 事業効果: 路線維持により、沿線の高齢者を中心とした通院及び買い物等の移動手段を確保(達成) 収益が大きく改善した要因: 小学校統合に伴う再編、周知の効果もあり、沿線児童中心に利用者増(前年度比+2,058人)	小学生の登下校時間、鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、小学生を中心とした沿線住民の移動手段の維持確保に努める。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: **上越市地域公共交通活性化協議会**  
 評価対象事業名: **地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金**

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
くびき野バス㈱	運行路線:真砂・岡田線 高田駅前～真砂寺前～北坪山上	予約方法や運行経路などを記載した周知チラシを沿線住民に配布し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 目標:運送収入前年比17.5%以上に対して実績△2.6%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線の住民及び学生等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の分析:高齢者を中心とした定期的な利用者の自然減。(回数券・定期券収入77千円減少) H27.4再編後、収入大幅増(H26:1,012千円、H27:1,373千円、H28:1,891千円、H29:1,841千円)、対前年比では△2.6%であったが、再編前(H26)と比較すると、+81.9%を維持している。	鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。市内の高校に通う学生を中心に啓発資料を配布して利用促進を図る。
頭城自動車㈱	運行路線:直江津・浦川原線(2) マルケーバスセンター～青野十文字～保倉川橋	今年度から事業評価を実施	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標:運送収入前年比△3.0%以下に対して実績△1.1%(達成) 事業効果:路線維持により、沿線の通学者・通勤者等の移動手段を確保(達成)	引き続き、鉄道、幹線系統との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。(直江津駅、イトーヨーカドーでの乗降車が多い)
東頭バス㈱	運行路線:大平線(1) 浦川原小学校前～虫川大杉駅前～大島コミュニティプラザ前	今年度から事業評価を実施	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標:運送収入前年比△5.0%以下に対して実績16.5%(達成) 事業効果:路線維持により、沿線の住民及び学生等の移動手段を確保(達成) 収益が大きく改善した要因:小学校統合に伴う再編により、児童中心に利用増(前年度比+2,519人、大平線(2)含む)	引き続き、小学生の登下校時間、幹線系統との接続に配慮したダイヤを維持することで、小学生を中心とした沿線住民の移動手段の維持確保に努める。
東頭バス㈱	運行路線:大平線(2) 浦川原小学校前～虫川大杉駅前～小谷島	今年度から事業評価を実施	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標:前年度の運送収入維持に対して実績127.7%(達成) 事業効果:路線維持により、沿線の住民及び学生等の移動手段を確保(達成) 収益が大きく改善した要因:小学校統合に伴う再編により、児童中心に利用増(前年度比+2,519人、大平線(1)含む)	引き続き、小学生の登下校時間、幹線系統との接続に配慮したダイヤを維持することで、小学生を中心とした沿線住民の移動手段の維持確保に努める。
上越市	運行路線:名立区自家用有償旅客運送(系統4)うみでらす立前～ろばた駅前～東飛山 運行路線:名立区自家用有償旅客運送(系統5)コミュニティプラザ前～ろばた駅前～東飛山 運行経路:名立区自家用有償旅客運送(系統6)コミュニティプラザ前～名立駅前～宝田小学校前	今年度から事業評価を実施	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標:運送収入前年比△3.0%以下に対して実績1.3%(達成) 事業効果:路線維持により、沿線の住民及び学生等の通学や通院などの移動手段を確保(達成) ※H28実績は名立を運行していた路線バスの収入であるため、単純に比較はできないが、今後も利用状況を注視していく。	引き続き、小中学生の登下校時間、幹線系統との接続に配慮したダイヤを維持することで、小中学生を中心とした沿線住民の移動手段の維持確保に努める。公共施設との提携、チラシ配布により利用促進を図る。
頭北観光バス㈱	運行路線:吉川西部循環線(系統1:吉川くびき駅線) 吉川中学校・吉川区総合事務所前～くびき駅前～吉川区総合事務所前・吉川中学校 運行路線:吉川西部循環線(系統2:上下浜駅線) 吉川区総合事務所前～上下浜駅前～吉川区総合事務所前・吉川中学校	今年度から事業評価を実施	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標:運送収入前年比△2.4%以下に対して実績4.4%(達成) 事業効果:路線維持により、沿線の住民及び学生等の通学や通院などの移動手段を確保(達成) 収益が大きく改善した要因:吉川中学校、支援学校の登下校に合わせたダイヤ設定、重複していた系統を統合したことで改善。	引き続き、学生の登下校時間、鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、学生、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。吉川中学校の課外活動に合わせ、夏季ダイヤから冬季ダイヤへの切り替え時期変更を検討していく。
くびき野バス㈱	運行路線:青柳線(下稲塚経由) 高田駅前～中央病院・下稲塚～青柳 運行路線:青柳線(松野木経由) 高田駅前～中央病院・松野木～青柳	今年度から事業評価を実施	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 目標:運送収入前年比△1.2%以下に対して実績△3.1%(未達成) 事業効果:沿線の住民及び学生等の通学や通院などの移動手段を確保(達成) 目標未達成の分析:高齢者を中心とした定期的な利用者の自然減。(回数券・定期券収入199千円減少) ※但し、4月～9月の期間を、前年度同期間と比較すると、200千円増収。今後も利用状況を注視していく。	鉄道・幹線系統との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。中央病院に高齢者向け啓発資料を設置し利用促進を図る。また、乗降調査を踏まえ、病院・商業施設への乗り入れによる効果を検証していく。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

協議会名:	上越市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	当市は、鉄道(JR東日本の信越本線、えちごトキめき鉄道の妙高はねうまライン・日本海ひすいライン、北越急行のほくほく線)のほか、当市と周辺自治体を、また、鉄道のない郊外エリアと市街地を結ぶ一部の幹線バス系統がある。その交通ネットワークと当市の路線バス系統やコミュニティバス(市町村運営有償運送)を支線として接続させることで、効率性を考慮しながらも、使い勝手のよい階層的な公共交通ネットワークの構築を進めるとともに、生活交通の維持・確保がなされるよう、地域の実情を踏まえた運行形態へと見直しを進めた。

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: バリアフリー化設備等整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
頸城ハイヤー(株) (補助対象事業者:北越リース(株)、第四リース(株))	福祉タクシーの導入(2台)	-	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 目標:平成28年度においては、導入意向のある事業者(1事業者)の予定台数(2台)を導入(達成) 事業効果:障害者はもとより、高齢者や妊産婦、子ども連れの人など、様々な人の移動による負担を軽減するとともに、安全かつ快適な移動が提供できた。	事業は本年度で完了した。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通再編推進事業(再編計画推進事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>①総合時刻表作成 市内の路線バスや鉄道などの運行時刻や運賃など公共交通に関する情報をまとめ、市域全戸に郵送し配布する予定。 総合時刻表に路線図を掲載して作成する予定。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施する予定(平成30年3月作成予定)</p>	<p>協議会や市民、運行事業者等からの意見をもとに、見やすい時刻表の作成を行う予定。</p>
<p>②啓発資料の作成 地域公共交通の利用を促すため、利便(安全性、環境負荷など)や公共交通の乗り方、お得な切符の情報などを記載したチラシを配布する。</p> <p>・【イベント時などに配布する公共交通啓発資料】 イベント(バスの日フェスタ)で子ども向けにバスの乗り方や乗車時のマナーを掲載した「バスのぬり絵」を作成し、多くの子どもたちからぬり絵を楽しんでもらい、公共交通の啓発を行うことができた。今後、同資料裏面にお得な切符情報を掲載し、イベントやバス案内所などで配布を行う予定。</p> <p>・【降雪期前の通勤・通学者へ配布する公共交通啓発資料】 通学100円バスの路線図や通学定期券の料金などを資料に掲載し、情報の充実を行った。</p>	<p>A ・【イベント時などに配布する公共交通啓発資料】 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施する予定。 ・【降雪期前の通勤・通学者へ配布する公共交通啓発資料】 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(平成29年12月作成済み)</p>	<p>・【イベント時などに配布する公共交通啓発資料】 引き続き、同資料の内容について、協議会や交通事業者等からの意見を参考に、啓発資料の構成や掲載情報の検討を行っていく。 ・【降雪期前の通勤・通学者へ配布する公共交通啓発資料】 引き続き、協議会や運行事業者等からの意見を参考に、資料をより見やすくする等改善を図る。</p>
<p>地域公共交通の主な利用者である、高校生及び高齢者の利用促進をさらに図るため、資料を配布する。</p> <p>・【高校生新生を対象とした公共交通啓発資料】 高校新生を対象としたパンフレットを作成する予定。</p> <p>・【高齢者を対象とした公共交通啓発資料】 今回、高齢者向けのお得な定期券情報やタクシーの割引情報等を掲載し、高齢者に対しお得に公共交通が利用できることの周知を図った。</p>	<p>A ・【高校新生を対象とした公共交通啓発資料】 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施する予定(平成30年2月作成予定) ・【高齢者を対象とした公共交通啓発資料】 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(平成29年8月作成済み)</p>	<p>・【高校新生を対象とした公共交通啓発資料】 高校新生に対し、通学手段の一つとして公共交通を利用いただけるよう、公共交通を利用した高校生のメッセージを記載するなど、親しみやすい内容を掲載する予定。 ・【高齢者を対象とした公共交通啓発資料】 引き続き、同資料の内容について、協議会や交通事業者等からの意見を参考に、情報の充実やより見やすい資料に改善していく。</p>
<p>④地域別バス時刻表の作成・配布 市内13区において、各区から市内の主要な目的地への移動手段や時刻などの情報を記載したチラシを作成し、配布する予定。 ・各地で取組む利用促進のチラシを作成する予定。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施する予定(平成30年3月までに作成予定)</p>	<p>各地域の路線情報や路線バスの利用を促す内容の記事を掲載するなど、引き続き、記載内容の充実を図っていく。</p>
<p>⑤平成29年度再編路線の評価検証 【事業内容】 ・平成29年度再編のバス路線(6路線)の沿線住民へアンケートを行い、再編の効果を検証する。 ・再編したバス路線の利用者へアンケートを手渡しし、後日返送してもらう。 ・郵送によるアンケート調査 【結果】 平成29年度再編のバス路線(5路線)の4路線(吉川区内路線、板倉区内路線、浦川原区内路線、清里区内路線)についてはアンケートを実施し評価検証を行っており、名立区内路線については、現在アンケートの実施を検討中である。</p>	<p>B 再編実施計画の中で、中郷区内路線は現状維持路線と位置付けており、再編路線は5路線となる。そのため評価検証には該当しないことから、事業が計画通りに実施されていない点があったものとし、B評価としている(平成29年6月から10月実施)</p>	<p>今回のアンケート調査の手法を参考に、アンケートを行う時期や手法について運行事業者と連携しながら、再編路線の評価検証を行う。</p>



公共交通総合時刻表の作成について

1 要旨

平成30年3月にダイヤ改正が予定されていることから、市内の列車時刻や路線バスの運行時刻、路線図等をまとめた冊子を作成し、市内全戸に配付することで、公共交通の利用を促す。

2 基本構成

冊子名称	上越市内公共交通利用ガイド
大きさ	A4判冊子
ページ数	48ページ(構成：路線図10ページ、列車、路線バス時刻表38ページ)
印刷部数	86,000部(前年比+3,000部 転入者用部数を増加)
配付部数内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全戸世帯：74,410部</li> <li>・公共交通事業者：6,300部(駅舎、バス案内所・営業所等)</li> <li>・市施設、転入世帯：4,830部(木田第1庁舎、各総合事務所等)</li> <li>・病院：300部(中央病院、上越総合病院、新潟労災病院)</li> <li>・大学・専門学校：100部(上越教育大学、上越看護専門学校等)</li> <li>・その他：60部(協議会)</li> </ul>
その他 (主な仕様)	製本：中綴じ、色数：4色フルカラー印刷、紙質：再生上質紙

3 経費

- ・ 予算額 (A) 作成予算額 2,786,400円  
(B) 配送予算額 138,553円  
(C) 総予算額 2,924,953円(A+B)
- ・ 財源内訳 国補助金+県補助金+市負担金+事業者負担金
- ・ 事業者負担金の考え方  
→総事業費(作成費+配送費)を各事業者の時刻表の掲載割合により算出した額(各事業者負担金)の合計額(算出方法参照)

<算出方法> 作成費+配送費=総事業費 (時刻表1ページ(A4)を4分割)

- ① (1ページ)4コマ×(1冊)48ページ=192コマ
- ② 総事業費÷192コマ=1コマ当たりの金額(円)
- ③ 1コマ当たりの金額(円)×各事業者時刻表掲載コマ数  
=各事業者負担金(円)

1コマ	2コマ
3コマ	4コマ

(参考：平成28年度「上越市内公共交通利用ガイド」財源内訳(83,000部))

作成費	国補助	県補助	市	事業者負担金
2,385,936円	1,129,464円	402,000円	410,273円	566,800円
122,601円	0円	0円		

#### 4 配布時期

- ・ 鉄道時刻のダイヤ改正に併せて、広報上越と一緒に上越市内に全戸配布  
広報上越 3 月 15 日号を予定

#### 5 平成 28 年度作成「上越市内公共交通利用ガイド」からの主な改善点

- ・ 路線図の凡例路線名の横に路線時刻表のページを記載
- ・ 路線図 P. 8、9 の路線図を 1 つの路線図に統合(柿崎区、大潟区、頸城区、八千浦区、吉川区)

#### 6 参考資料

- ・ 路線図改善(案) ..... 参考資料 4(P. 23)

報告事項

報告第2号

台風21号による県道決壊に伴う路線バス「桑取線」代替運行等の対応について

1 要旨

台風21号の降雨に伴い、10月23日(月)に県道土口谷浜停車場線が決壊し、路線バス「桑取線」において「西山寺」から「くわどり湯ったり村」間が区間運休となり市が代替運行(無料)を行ったもの。

2 県道の被害状況

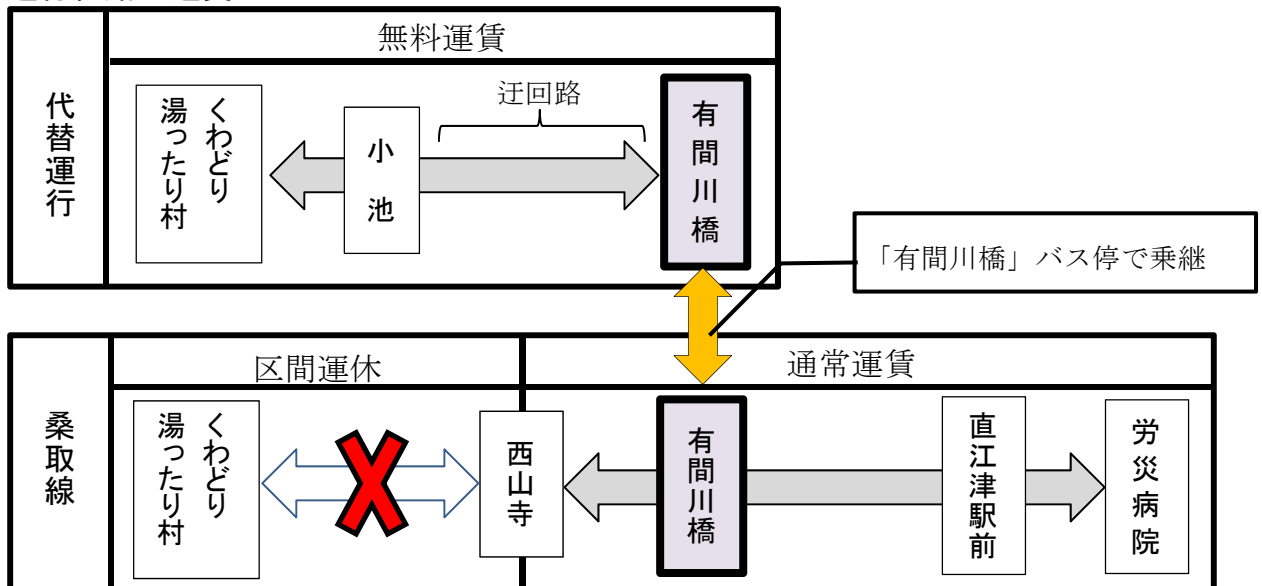
小池地内で道路が決壊し、10月23日(月)から全面通行止め。



3 対応状況

- 10月27日(金)午後4時台からジャンボタクシーにより代替運行(無料)を開始(小中学生の通学は、10月24日(火)から市マイクロバスにより送迎開始)
- 11月7日(火)始発便からは、中型バス(平日のみ)により代替運行(無料)を開始し、小中学生の通学にも利用できるように対応(市マイクロバスによる通学の送迎終了、休日は引き続きジャンボタクシーによる代替運行(無料))
- 県道の仮設道路の完成に伴い、11月19日(日)の始発便から路線バス「桑取線」が運行を再開(市代替運行(無料)終了)

4 運行経路・運賃



## 5 市代替運行(無料)の利用状況

10月27日(金)16時から11月18日(土)終便までの総利用者数 406人  
(内訳)

利用者	人数	備考
児童・生徒	345人	児童・生徒の利用は11月7日(火)から
大人	33人	
高齢者	28人	
合計	406人	

## 6 市代替運行(無料)の契約等

運行経費 2,331,040円

### ① ジャンボタクシーの運行

- ・ 契約者 上越市ハイヤー協会
- ・ 運行期間 10月27日(金)から11月18日(土)まで(延べ23日間)
- ・ 運行実績 131回
- ・ 運行経費 1,048,000円

### ② マイクロバスの運行

- ・ 契約者 頸城自動車株
- ・ 運行期間 11月7日(火)から11月17日(金)まで(延べ9日間)
- ・ 運行実績 90回
- ・ 運行経費 1,283,040円

## 7 参考資料

- ・ 台風21号による公共交通への影響……………参考資料5(P.25)

## 平成30年度からの地域公共交通活性化協議会市民委員の募集について

### 1 要旨

本協議会委員の任期が平成30年3月31日で満了となることから、新たに市民委員を募集するもの。

### 2 募集内容

- (1) 募集人数 3人
- (2) 募集対象者 公共交通に関心がある18歳以上の市民  
(交通事業者と利害関係を有する人及び高校生を除く。)  
(上越市の5を超える審議会等に参画している人を除く。)
- (3) 委員任期 平成30年4月1日から2年間
- (4) 応募内容 氏名、性別、住所、生年月日、年齢、連絡先、職業、経歴、自己PR、「応募の動機や今後の公共交通（鉄道や路線バス等）に期待すること」をテーマにした作文（400字程度）
- (5) 募集期間 平成29年12月15日（金）～平成30年1月15日（月）  
新幹線・交通政策課（必着）

### 3 周知方法

- ・ 広報上越12月15日号への掲載
- ・ 報道機関への情報提供
- ・ 市ホームページへの掲載
- ・ 募集案内の設置  
設置場所：新幹線・交通政策課、市役所木田第1庁舎1階市民ホール、  
南・北出張所、各総合事務所

### 4 今後の予定

- ・ 募集期間 平成29年12月15日（金）～平成30年1月15日（月）
- ・ 選考期間 平成30年1月下旬～2月上旬
- ・ 選考結果通知 平成30年2月中旬
- ・ 協議会への報告 平成30年3月

### 5 参考資料

- ・ 募集案内、応募用紙……………参考資料6(P.27)

## 中郷乗合タクシーの運行ダイヤの見直しに関する検討状況について

### 1 要旨

中郷区及び妙高市を運行する乗合タクシー「関山ルート」及び「岡沢ルート」について、現在検討を進めている運行時間等の見直しの進捗状況を報告するもの。

### 2 背景

- ・乗合タクシーは、夕方の最終便に利用者の少ない便があるほか、現在運行していない時間帯の運行希望がある。
- ・平成 28 年 6 月に、乗合タクシーを運行する妙高市ハイヤー協会（新井タクシー(株)、アイエムタクシー(株)）から、最終便の運行の見直し等について要望があった。

### 3 検討の経過

#### (1) 乗降調査（H29 年 2 月実施）、住民アンケート（H29 年 6 月実施）の結果

- ・関山ルートは、現在午前の便がひばり荘の開館時間（午前 11 時）に合っていないため、ダイヤ変更を希望した 11 人のうち 7 人が、ひばり荘の開館時間に合う便を希望
- ・岡沢ルートは、現在午後 2 時台～午後 5 時台の間、岡沢方面に帰宅する便がないため、ダイヤ変更を希望した 24 人のうち 12 人が午後 3 時台～4 時台の便を希望

#### (2) 保護者との意見交換会（H29 年 10 月実施）での主な意見

- ・予約方法が分からない。予約が面倒である。
- ・運行ダイヤが登下校の時間に合わない。

### 4 今回の対応（本年 12 月に実施）

#### (1) 通学の利便性向上

- ・関山ルートと岡沢ルートの朝と夕方の便について、本年 12 月 1 日から、中郷中学校の通学時間に合わせてダイヤを変更した。(①)
- ・乗合タクシーの予約について、1 週間又は 1 か月単位で予約ができる様式を作成し、FAX 又は運転手への提出による予約を可能とすることで、保護者の負担とならない予約方法とした。
- ・本年の冬期間（12 月～3 月）は、岡沢ルート 7 人（生徒数 10 人、前年 0 人）、関山ルート 9 人（生徒数 15 人、前年 6 人）の利用見込み。

#### (2) 通院や買い物等の利便性向上

- ・岡沢ルートにおいて、利用がほとんどなかった新井行の最終便(②)を、午後 3 時台の岡沢行の便(③)に変更し、通院や買い物帰りの利便性を向上した。

■岡沢ルート

岡沢→新井					新井→岡沢				
No.	変更前	変更後	利用者	稼働率	No.	変更前	変更後	利用者	稼働率
1	定時 6:55	定時 6:55	1.4 人/日	100%	1	定時 7:35	定時 7:35	3.6 人/日	100%
2	7:40	① 7:30	0.7 人/日	56%	2	8:50	8:50	0.3 人/日	30%
3	9:40	9:40	5.6 人/日	98%	3	12:20	12:20	3.9 人/日	95%
4	13:10	13:10	0.7 人/日	47%	4	13:50	13:50	0.7 人/日	42%
5	16:15	② —	0.0 人/日	1%	5	—	③ 15:30	—	—
					6	17:50	① 18:00	0.2 人/日	24%

■関山ルート

関山→新井					新井→関山				
No.	変更前	変更後	利用者	稼働率	No.	変更前	変更後	利用者	稼働率
1	定時 6:47	① 定時 6:52	2.4 人/日	100%	1	9:25	9:25	2.9 人/日	90%
2	8:25	8:25	2.6 人/日	97%	2	12:05	12:05	2.0 人/日	92%
3	13:00	13:00	1.6 人/日	94%	3	15:20	15:20	1.7 人/日	68%
4	16:10	16:10	0.8 人/日	28%	4	17:20	17:20	1.6 人/日	37%

5 今後の予定

- ・事業者から見直しの要望がある最終便の運行について、12月のダイヤ改正後の状況を踏まえ、引き続き事業者と対応を協議していく。
- ・希望の多いひばり荘の開館時間に合う便について、引き続き事業者と対応を協議していく。

6 参考資料

- ・乗合タクシー運行時刻変更周知チラシ…………… 参考資料 7(P. 30)  
(広報上越 11 月 15 日号と一緒に中郷区内全戸配布)

## 報告事項

### 報告第 5 号

#### 自家用有償旅客運送の軽微な事項の変更の届出について

#### 1 要旨

上越市が実施する自家用有償旅客運送(市町村運営有償運送)の登録事項に国土交通省令で定める軽微な変更が生じたため、変更事項の届出を行うもの。

#### 2 自家用有償旅客運送登録されている有効期間

平成 29 年 10 月 1 日から 3 年間

#### 3 軽微な変更事項

区	軽微な変更	変更日	変更理由
大島区	市営バス「旭線」の経路変更 (キロ程の減少)	平成 29 年 12 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"><li>市営バス「旭線」において、あさひ荘入口停留所を廃止することで、運行区間の重複が軽減し、運行距離の短縮が可能になる。</li><li>距離の短縮に伴い、燃料等の運行経費の軽減や移動手段に係る所要時間の短縮を図ることができ、バス利用者の利便性向上につながる。</li></ul>

#### 4 参考資料

- 自家用有償旅客運送に係る登録事項変更届出書…………… 参考資料 8(P. 32)